

# SJLLF

## Tohoku

# 2015 年度

## 日本フランス語フランス文学会 東北支部大会

2015 年度日本フランス語フランス文学会東北支部大会を下記の通り開催いたします。  
みなさまのご参加をお待ち申し上げます。

日 時：2015 年 11 月 7 日（土） 13:30～17:30

主催校：石巻専修大学

会 場：〒986-8580 石巻市南境新水戸 1 番地

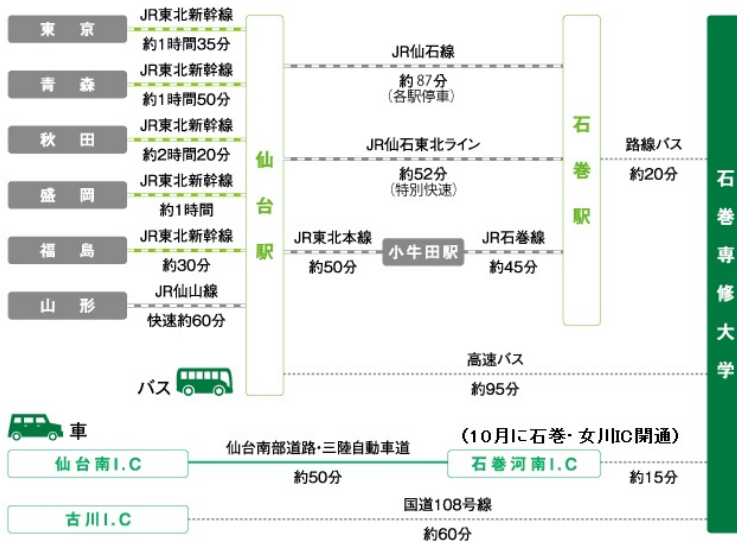
石巻専修大学 5 号館 3 階 5301 教室

JR 石巻駅からバスで約 20 分／タクシーで約 10 分

三陸道石巻・女川 IC（10 月に開通）から橋をわたってすぐ

当日のお問い合わせ先：大谷 尚文（石巻専修大学）携帯：090-9030-8056

### アクセス



守衛所があり、5号館にも近い北門をご使用ください



昼食は学食でも可能ですが、市内で済ませてきていただくほうが便利です。

懇親会場：「滝川」（18:00～20:00 一般 7000 円 学生 3500 円）

石巻市中央 1 丁目 13-13 電話 0225-22-1138

予約の都合上、懇親会にご出席を希望される方は、10 月 31 日までに石巻専修大学大谷尚文にお知らせください（メール：otani@isenshu-u.ac.jp／携帯：SMS 可）。

懇親会場へのアクセス:石巻専修から懇親会場へは車を使う以外にありませんので(車で 15 分程度)、車でお出での方は石巻市内まで身近な人をお乗せください。車が不足する場合は、北門の守衛所でタクシーをお呼びください。

## 大会プログラム

12時30分～ 受付

13時30分～ 開会の辞

石巻専修大学 大谷尚文

石巻専修大学学長 坂田隆

支部長挨拶 岩手大学 山本昭彦

13時40分～14時15分 研究発表

新田直穂彦（東北大学大学院博士課程）

「lui+appartenir と y+appartenir との対立」

司会 福島大学 佐野敦至

《休憩》

14時30分～16時40分 シンポジウム「世紀末の文芸誌と作家たち」

合田陽祐（山形大学）

坂巻康司（東北大学）

今井 勉（東北大学・司会）

16時40分～17時30分 総会

17時30分 閉会の辞

石巻専修大学 大谷尚文

18時30分～20時30分 懇親会（会場：滝川 一般7000円 学生3500円）

## 東北支部の皆様

皆様のお手元にお送りした「ご案内+プログラム」に変更等がありますので、お知らせします。

(1) 11月7日(土)に石巻専修の学食で昼食ができないわけではないと書きましたが、その後、大会当日は学食は開いていないことが判明しましたので、お詫びとともにお知らせします。

(2) 10月4日(日)に「三陸道石巻女川IC」が開通しました。車で直接に石巻専修にお出でになるには、このICが便利ですのでお知らせします。

(3) ホテルをお探しの方で、まだ決まっていない方は、大谷([otani@isenshu-u.ac.jp](mailto:otani@isenshu-u.ac.jp))までお知らせください。大谷のほうで探してみます。ちなみに、グランドホテル、ホテル林屋、ルートイン等があります。

以上の3点をお知らせします。 (2015.10.5. 主催校)

日本フランス語フランス文学会東北支部大会  
(2015年11月7日 石巻専修大学)  
シンポジウム企画書

1. シンポジウム題目：世紀末の文芸誌と作家たち
2. パネリスト：合田陽祐（山形大学）、坂巻康司（東北大学）、今井 勉（東北大学・司会）
3. 希望時間：110分（導入（今井）5分、総論（合田）15分、各論1（坂巻）25分、各論2（今井）25分、各論3（合田）25分、質疑応答15分）
4. 使用言語：日本語
5. 連絡先：今井 勉 [tsutomu@m.tohoku.ac.jp](mailto:tsutomu@m.tohoku.ac.jp)

1890年から98年までのおよそ十年間にフランスで創刊された文芸誌の数は実に130を超える。19世紀末フランス文学を語るうえでこうした文芸誌の存在を無視することはできない。作家と雑誌の関係はきわめて緊密であり、今日よく知られる作品についても、その「初出テキスト」のほとんどは雑誌上であると言って過言ではない。掲載に至る舞台裏、刊行の反響、その後の帰趨など、雑誌はテキストと作家を生む力動的な場そのものである。雑誌と作家のこうした濃密な関わりに改めて注目することによって、世紀末文学における文芸誌の意義を浮き彫りにしてみようというのが本シンポジウムの狙いである。まず総論として19世紀末文芸誌の機能について合田が解説したのち、各論として坂巻がマラルメと『ワーグナー評論』について、今井がヴァレリーと『ラ・コンク』及び『ル・サントール』について、合田がジャリとグールモンの雑誌『イメージ』について報告し、最後に全員で討議する予定である。

（当初、今井先生からは以上のような企画書を頂戴しましたが、時間的にまだ余裕があること、また日本フランス語フランス文学会会長の柏木先生がシンポジウムにもご参加なさる可能性があることをお伝えすると、つぎのようなお返事を頂戴しました。プログラムはそのように組んであります）

ご提案の件、ありがたく存じます。それでは、合田さんの総論と、各論の三人（坂巻、今井、合田）の発表時間をそれぞれ5分プラスとして、全体で20分増とさせていただければ幸いです。坂巻さんと合田さんには、その旨、お伝えしておきます。また、柏木会長のご参加の可能性についても、謹んで了解いたしました。